

翔 はばたく

学校だより
平成25年度
11月13日発行
手ノ子小学校

学習発表会

これまで学習してきた成果を発表する学習発表会が、10月26日（土）に行われました。

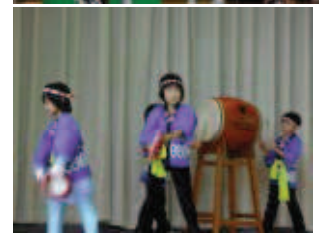
各学級の発表、ファンファーレバンドの演奏、全校合唱が披露されました。

特に、素晴らしかったのは、各学級の発表です。それぞれの学級が、どんな発表をするのかを考え、練習を重ね、全員で創り上げてくれました。

1年生の音読と生活劇『大好き！ ときどき わくわく、手ノ子小学校』は、入学式からこれまでの学校生活の様子、それから国語で学習した「けんかした山」を劇で表現したものです。盛りだくさんの内容で、1年生がここまで創り上げたことに感心しました。1年生の元気の秘密が、合い言葉にあることがわかりました。



2年生の音楽劇『ドラえもん和世界旅行』は、教室にドラえもんが現れ、子どもたちと一緒に「どこでもドア」を使って世界旅行をするお話でした。世界のいろいろな国の音楽を歌や演奏で楽しく紹介してくれました。特に、全員の心を合わせた日本の太鼓の演奏と踊りが良かったと思います。



3年生の総合発表劇『いいで町の自まん大けんきゅう』は、社会科や総合の時間に実際に見たり聞いたり調べたりしたことをまとめた発表でした。いろいろな資料やデータで、とてもわかりやすく飯豊町の良いところを発表してくれました。飯豊町の良さを再確認できました。



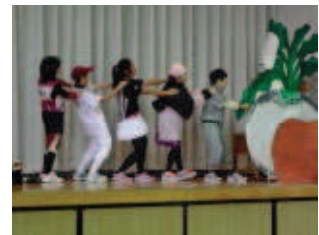
4年生の朗読『ごんぎつね』は、国語の授業で学習した物語「ごんぎつね」を暗唱し、ジャンボ紙芝居で発表したものです。教科書で14ページもある物語を6人で分担して覚え、場面や登場人物の心情を捉えて、気持ちを込めて発表してくれました。紙芝居の絵もていねいで、物語の世界に引きずり込まれました。



5年生の体育発表『心をついにみんなでチャレンジ』は、活発な5年生にはぴったりの「組体操」と「リズム縄跳び」の発表でした。一つ一つの技がしっかり決まって格好良かったです。ここまで技を合わせるには、5年生全員で心をついにすることと集中力、そして相当な練習が必要だったと思います。



6年生の英語劇『おおきなかぶ~The big turnip~』は、1年生の国語の教科書に出てくる「おおきなかぶ」を英語で演じたものです。日本語の解説もあり、全員が楽しく見る事ができました。私たちが知っている物語と登場人物を変えてオリジナルの劇にしたり、最後にダンスがあったりと楽しい発表でした。6年生の別の一面を見たように感じます。



どの学級の発表も、とても素晴らしいものでした。それぞれの学級が持ち味を出し、一人ひとりが学級の仲間と心を合わせ、思いをこめ、一生懸命発表したからこそ、見る人の心を打ったのだと思います。

全校生で心を一つに創り上げた全校合唱『レッツ サーチ フォア トゥモロウ』や、4年生以上の子ども全員で演奏したファンファーレバンド『ヘビー・ローテーション』も素晴らしいものでした。



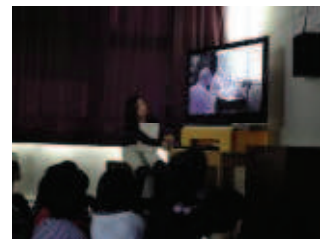
ファンファーレバンドは11月16日(土)の「めざみの里」音楽祭に出場します。演奏がとても楽しみです。

学習発表会に向けての練習と準備、そして本番で築き上げた学級の絆、学校の絆をこれからの学校生活に活かしていきたいものです。

心を育む学校給食週間

11月1日(金)から11月8日(金)まで、『心を育む給食週間』の取り組みを行いました。

給食について知ってもらうため、健康委員の子どもたちが昼の放送で、「給食クイズ」をしたり、「食に関する放送劇」をしたりしました。



また、ご飯がどのようにして作られているのか、働く人たちがどんな思いで作っているのかを、「マルシチ米穀」さんよりビデオに撮ってもらい、全校生で視聴しました。

最終日の8日には、酪農をしている高橋 実さんにおいでいただき、乳牛をどのように育てているのか、牛乳のことや食材の生産に関わる人の思いを写真や絵、ポスターなどを使って話していただきました。その後、高橋 実さん、調理長の島田 章久さん、栄養士の山口 薫さん、調理師の星 望さん、鈴木 由里さん、佐藤 悠さん、マルシチ米穀の後藤 まつさん、竹内 道子さんに入っただき、全校会食と感謝の会を行いました。



いつも、私たちの給食のために骨を折っていただいていることに感謝しているところです。

給食に関わる人たちの思いやご苦労を知り、食の大切さ、食とそれに関わっている多くの人たちへの感謝の心を育む機会となりました。